

【外国人患者受入れ体制整備を始める方に】

現状把握のための確認項目リスト

医療機関名:

作成者:

作成年月日:

【流れ】

1

外国人患者の現状の把握

2

現在の多言語対応体制の把握

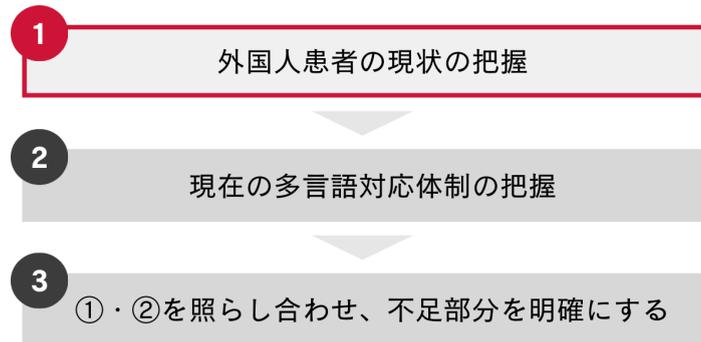
3

①・②を照らし合わせ、不足部分を明確にする

※備考

- ・精緻なデータが取れない場合は、例えば、1カ月間受付の方に依頼して、来院された外国人患者さんに国籍・言語等を聞いて集計を行い、傾向を把握すると良いでしょう。
- ・言語・国籍が分からない場合は、周辺地域における在住者の状況や、近くの観光地に来る観光客について調べると傾向が分かるでしょう。

①外国人患者の現状の把握



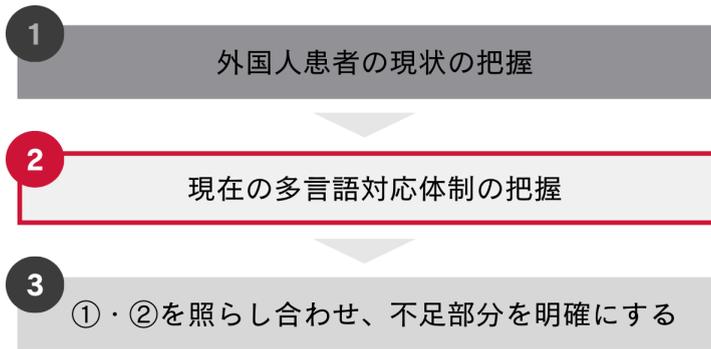
来院状況

	外来(時間内)	外来(時間外)	入院
総数 (例:30人/月)			
言語	語 人 語 人 語 人 語 人 語 人 語 人 語 人 語 人	語 人 語 人 語 人 語 人 語 人 語 人 語 人 語 人	語 人 語 人 語 人 語 人 語 人 語 人 語 人 語 人
国籍(任意)			
外国人患者さんのうち、保険証のない患者さんの割合 (例:20%)			
受入れが多い診療科 (任意)			
具体的なトラブル事例			

電話の状況

外国語での入電の頻度 (例:5人/月)									
言語	語	語	人	語	語	人	語	語	人
		人	人		人	人		人	人
国籍(任意)									

②現在の多言語対応体制

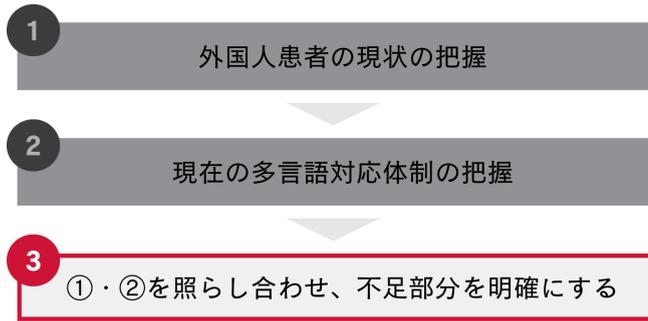


機械翻訳の導入有無	導入している 導入していない
機械翻訳の言語数	
機械翻訳を搭載した機器の台数	
通訳を業務としているスタッフについて	いない いる (人)
通訳を業務としているスタッフの人数(言語ごと)	語: 人 語: 人 語: 人
通訳を業務としているスタッフが対応できる時間	
外国語を話せる職員のリストの有無 (通訳を業務としていない)	ない ある (人)
外国語を話せる職員で対応できる言語 (通訳を業務としていない)	語: 人 語: 人 語: 人
医療通訳の導入有無	派遣 : 有 無 遠隔(電話/ビデオ): 有 無
医療通訳の対応言語数	
医療通訳の対応時間*1	
3者間通話*2の対応が可能か (外国語からの入電に対応できるか)	はい いいえ

*1 時間外に来院する外国人患者さんや入院する外国人患者さんがいる場合は、夜間帯でも医療通訳が利用できる状態にしておくとい良いでしょう。

*2 3者間通話とは、3人で同時に会話できる機能・サービスです。外国人患者さんから電話がかかってきたときや、遠方にいる外国人患者さんやその家族と通訳を介してコミュニケーションを取りたい時などに有効です。

③照らし合わせる



外国人患者の現状のまとめ	
現在の多言語対応体制のまとめ	
新サービス導入検討の必要性	<p>【不足している言語・時間帯・場面はあるか】</p> <p>はい・いいえ</p> <p>【どのような内容のサービスを検討すべきか】</p>

ご不明点などがございましたらお気軽にご相談ください。
直接入力できるWord版もご用意があります。ご入用の際は以下へお問い合わせくださいませ。

メディフォン株式会社
メール ✉ contact@mediphone.jp
電話 ☎ 050-1725-8533(平日 9:00~18:00)